

舗装に廃PETを有効活用

新スーパーポリアスコン開発

日本道路と花王

日本道路と花王は、廃PETを5%まで500μm以下のPETボルト約15本を添加剤とした新たな「スーパーポリアスコン」を開発した。花王が高機能顔料「ニエートラック」にケミカルリサイクル技術を確立し、スーパーポリアスコンの高耐久性に、廃PETを有効活用することで循環型社会に貢献するという付加価値を付けた。アスファルト舗装1平方

メートルの処理は、これまでトラック出まかなつていたが、中国が廃PETの輸入を禁止し、東南アジア諸国も輸入禁止の方向にあり、国内での処理が迫られている。また、これまで回収PETはス

化剤とした。日本道路の「スーパーポリアスコン」に、花王の廃PETや入り「ニエートラック」を約1・5%添加したアスファルト混

合物の試験施工を、夏に青森市内運送公社の敷地内に、また那珂市の同社プラントの那珂アスコンで試験施工を実施し、品質・施工性を確認している。

「スーパーポリアスコン」は、14時間せん断試験においてもまったく破壊されることがない。重要道路などのわだち掘れや流動対策の必要な箇所

に最適な混合物とし、舗装の修繕コストの削減と長寿命化が期待でき、ライフサイクルコストの大幅削減が図れるとしている。

「スーパーポリアスコン」は、花王の高機能アスファルト舗装と、花王が共同開発した。道路舗装改修の一般的な対策であるポリマー改質アスファルト舗装よりも高い強度を補強し、また、一般的な対策であるまたわみ性舗装と比較して工程の50%短縮が可能としている。

「PETを舗装の高機能化剤「ニエートラック」の中にご利用



施工事例

できるケミカルリサイクル技術を確立し、粉末化した回収PETを調達し、花王独自の薬性と配合技術でアスファルト高耐久